

令和 7 年 9 月実施
獨協医科大学医学部教育における成果に関するアンケート
(就職先【臨床研修医】) 報告書
〈要約版〉

令和 7 年 11 月 5 日

獨協医科大学教学 I R センター
医学教育点検推進室

【まえがき】

獨協医科大学では、「学問を通じての人間形成」を建学の精神のもと、①人間性豊かな医師及び看護職者の育成、②能力の啓発に重点を置く教育方針、③地域社会の医療センターとしての役割の遂行、④国際的交流に基づく医学・看護学研究、という4つの建学の理念をたて教育活動を行っています。医学部では、「患者及びその家族、医療関係者をはじめ、広く社会一般の人々から信頼される医師の育成」という教育理念のもと、教育目標および到達目標を掲げ、アドミッション・ポリシーに従い入学者を決定し、ディプロマ・ポリシーに示された学修成果を学生が達成することを目的とし、綿密なカリキュラム・ポリシーを構築し実践している。そして、本学所定の科目を履修し卒業に必要な単位を修得したうえで、総合試験、共用試験および卒業試験に合格し、医学部の理念に合致し、卒業後に活躍できる資質を有すると判断されるものに卒業を許可しています。

そこで、卒業生が就職し一定期間経過した時の本学の教育を振り返り評価した調査を実施しています。

本調査により、獨協医科大学医学部の卒業生が卒後において、大学教育における習得度や達成度、教育全般などに対しどのような現状であるか、大学教育の効果などを明らかにし、本学の教育を再点検し、学生生活支援や教学改善につながることは我々にとって望外の喜びです。

最後に本調査に対してご回答頂きました卒業生のみなさま、アンケート集計を実施した教学 IR センター事務室のみなさまに深謝いたします。

2025 年 11 月 5 日

獨協医科大学教学 I R センター
医 学 教 育 点 検 推 進 室

【目次】

| | |
|--------------|---|
| 1. 基本事項 | 1 |
| 2. 調査対象者と回収率 | 2 |
| 3. 調査結果 | 3 |

I. あなた自身について

| | |
|---------------------------|---|
| 問. あなたのお名前をフルネームでご入力ください。 | 3 |
|---------------------------|---|

II. 現在の勤務先について

| | |
|------------------------|---|
| 問. あなたは、現在の職業に満足していますか | 3 |
| 問. あなたは、現在の職場に満足していますか | 3 |

III. 本学の教育およびカリキュラムについて

| | |
|--|---|
| 問. 1年生で学修した語学（英語・ドイツ語など）科目は、どのくらい役立っていますか | 3 |
| 問. 1年生で学修した理系（生物・化学・物理）科目は、どのくらい役立っていますか | 4 |
| 問. 2・3年生で学修した基礎医学科目は、どのくらい役立っていますか | 4 |
| 問. 3・4年生で学修した臨床医学科目は、どのくらい役立っていますか | 4 |
| 問. 5・6年生で学修した臨床実習（CC、ACC）は、どのくらい役立っていますか | 4 |
| 問. 全体として本学のカリキュラムは役に立っていますか | 5 |
| 問. 獨協医科大学で学修したことについて満足していますか | 5 |
| 問. 下記の項目について、あなたは獨協医科大学でどの程度身につけることができましたか | 5 |
| 問. 下記のディプロマ・ポリシーについて、あなたは獨協医科大学でどの程度身につけることができましたか | 7 |

IV. あなたの学生生活について

| | |
|-------------------------------|----|
| 問. あなたは、6年間の学生生活は充実していましたか。 | 10 |
| 問. 獨協医科大学の学生生活支援について最も当てはまるもの | 10 |

1. 基本事項

1) 調査対象

令和6年度獨協医科大学医学部卒業生 114名

2) 調査期間

令和7年9月 1日調査票送付

令和7年9月30日調査票回収締め切り

3) 調査方法

記名式でのアンケートとし、所属事業所より配布された所定の調査票を元に、Webにて回答する。

4) 実施母体

教学IRセンター医学教育点検評価室

5) 結果の公表

本報告書での報告および教学IRセンターホームページでの公開など

2. 調査対象者と回収率

1) 調査対象者

令和6年度獨協医科大学医学部卒業生 114名

2) 有効回答数

47名

3) 有効回答率

41.2%

3. 調査結果

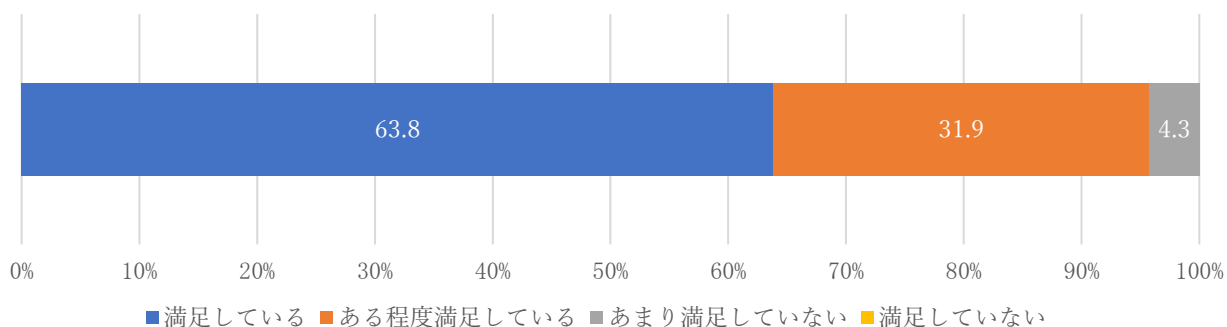
I. あなた自身についてお尋ねします。

問. あなたのお名前をフルネームでご入力ください。

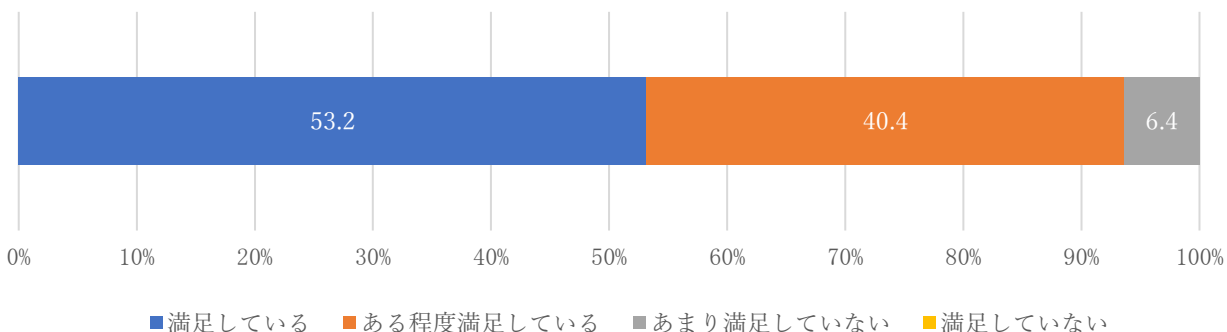
省 略

II. 現在の勤務先についてお尋ねします。

問. あなたは、現在の職業に満足していますか。

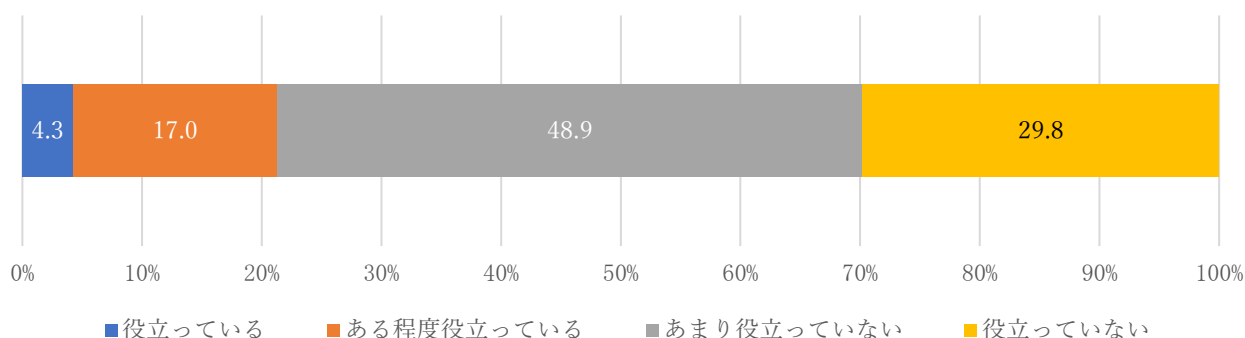


問. あなたは、現在の職場に満足していますか。

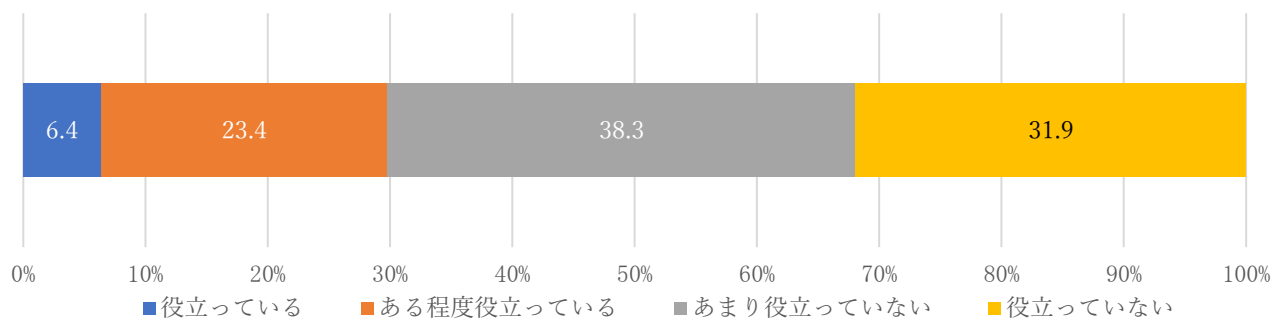


III. 本学の教育およびカリキュラムについて質問します。

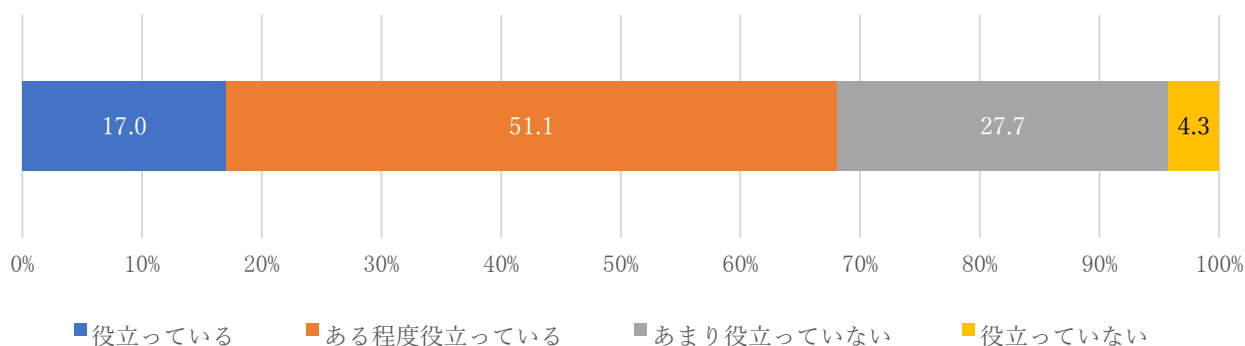
問. 1年生で学修した語学（英語・ドイツ語など）科目は、どのくらい役立っていますか。



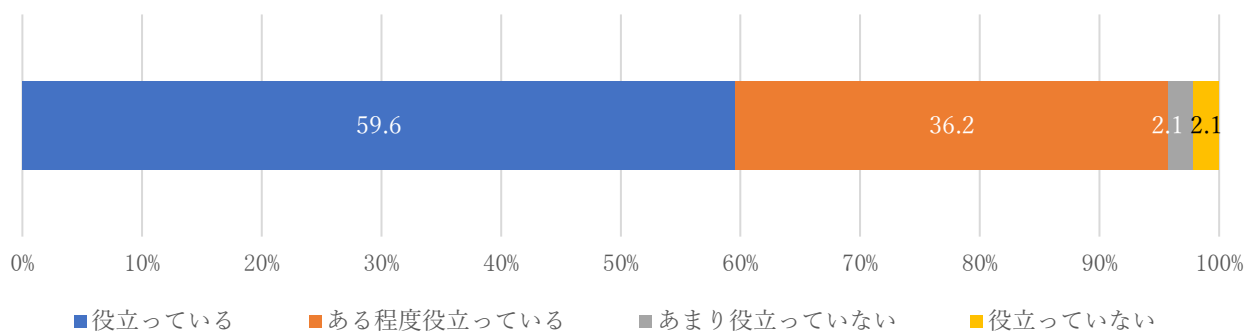
問. 1年生で学修した理系（生物・化学・物理）科目は、どのくらい役立っていますか



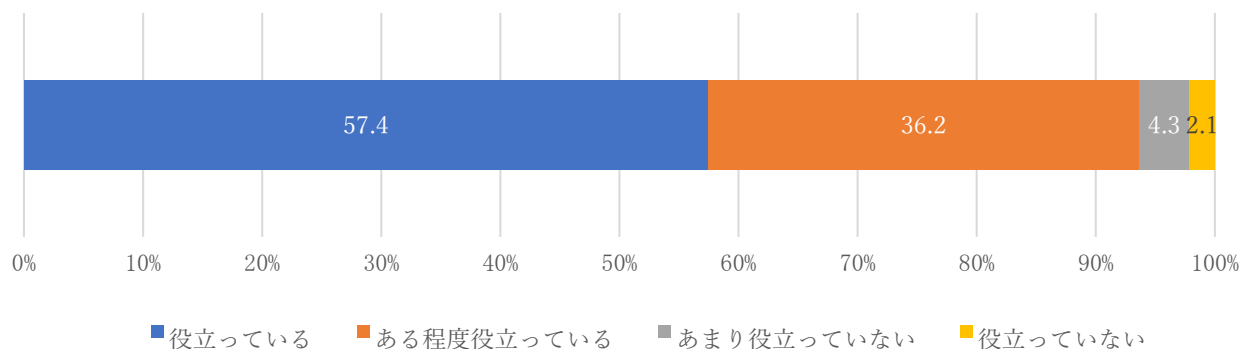
問. 2・3年生で学修した基礎医学科目は、どのくらい役立っていますか。



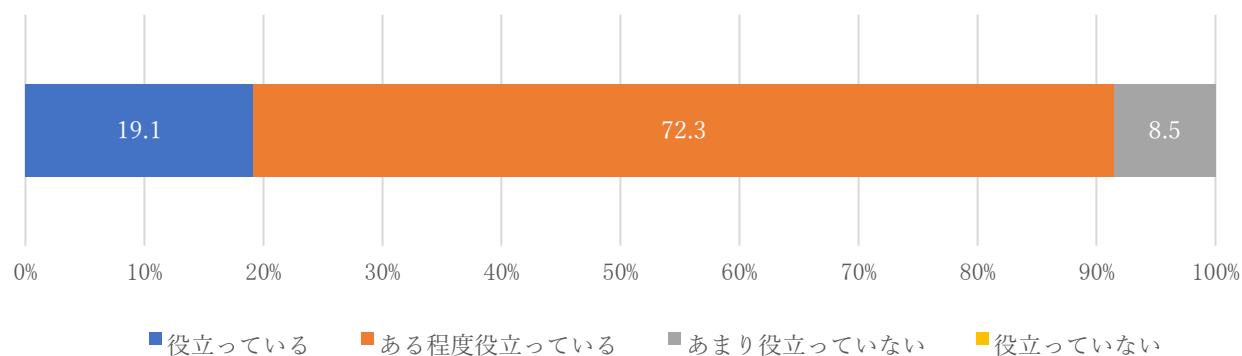
問. 3・4年生で学修した臨床医学科目は、どのくらい役立っていますか。



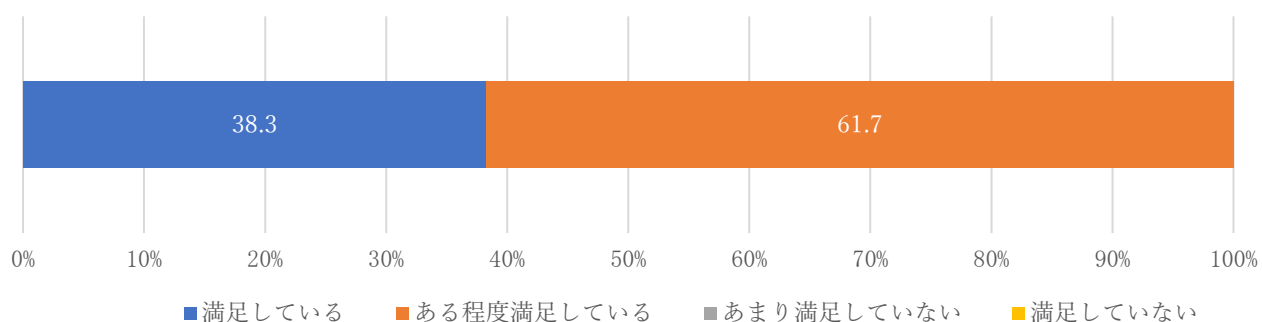
問. 5・6年生で学修した臨床実習（CC、ACC）は、どのくらい役立っていますか。



問. 全体として本学のカリキュラムは役に立っていますか。

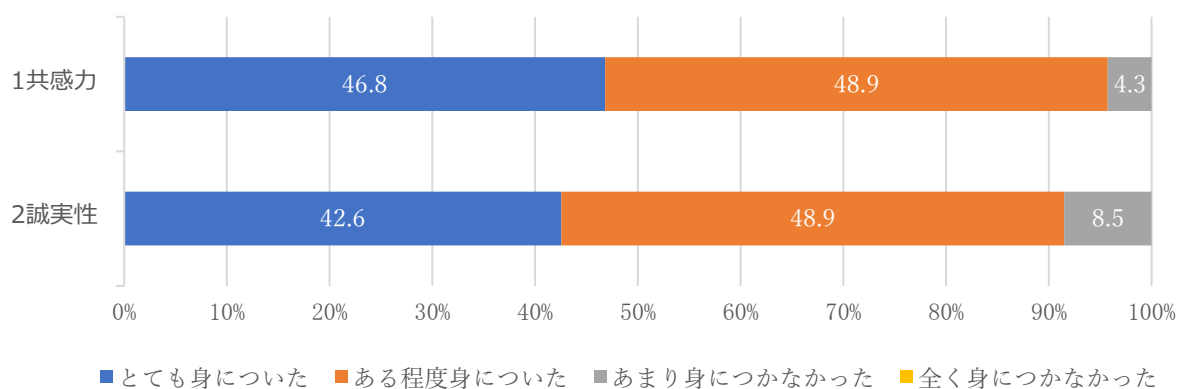


問. 獨協医科大学で学修したことについて満足していますか。

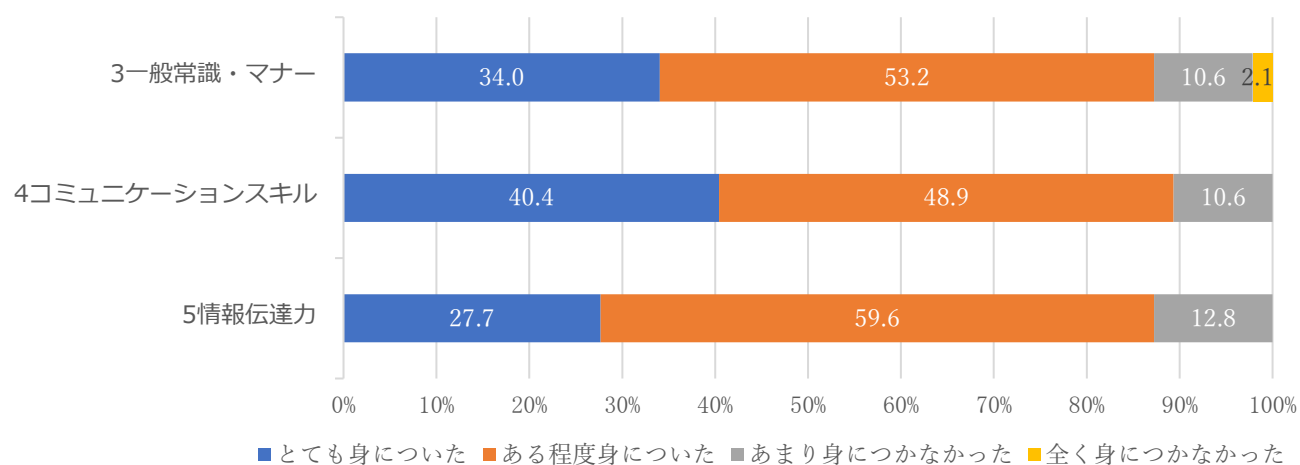


問. 下記の項目について、あなたは獨協医科大学でどの程度身につけることができましたか。

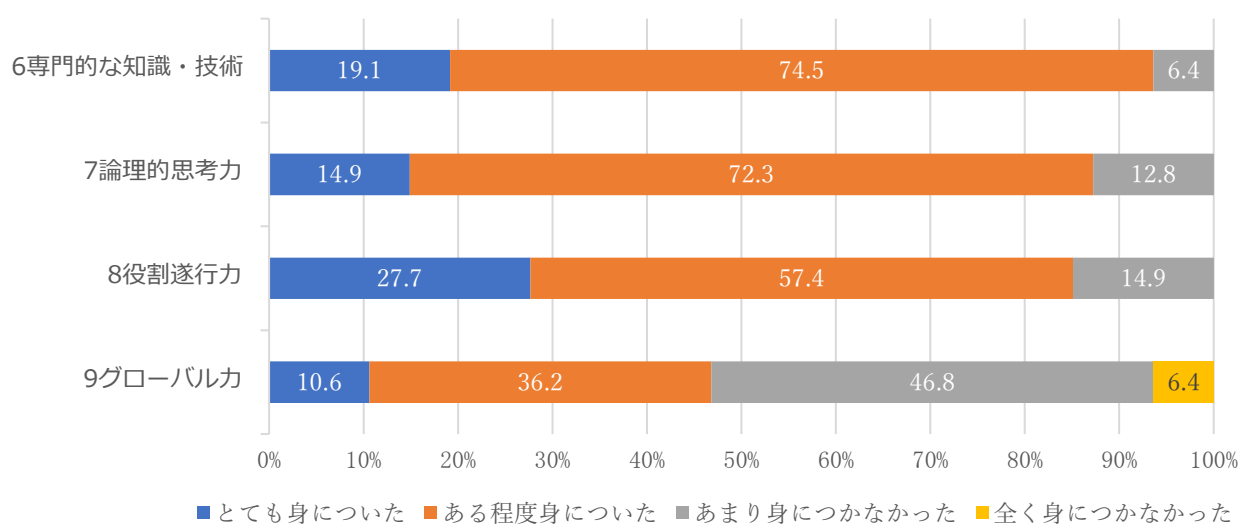
A. 人間性



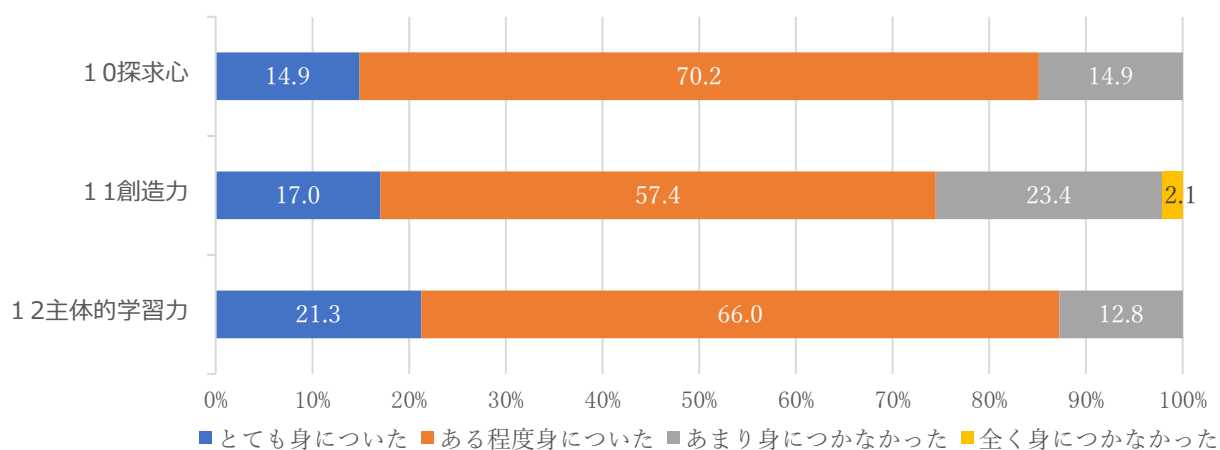
B. コミュニケーション力



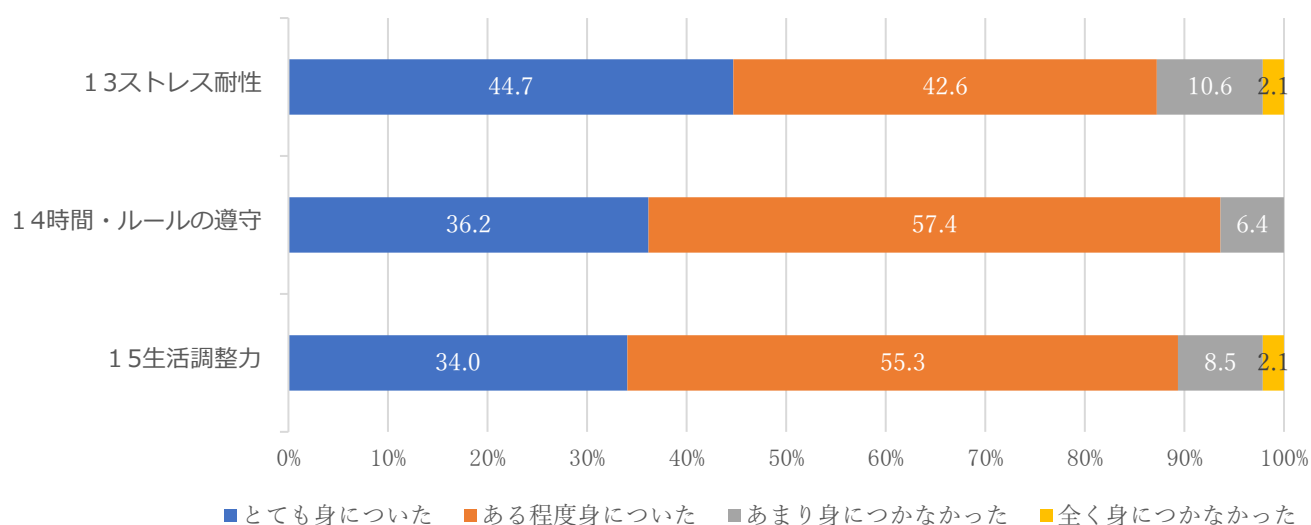
C. プロフェッショナリズム



D. リサーチマインド（問題解決力）

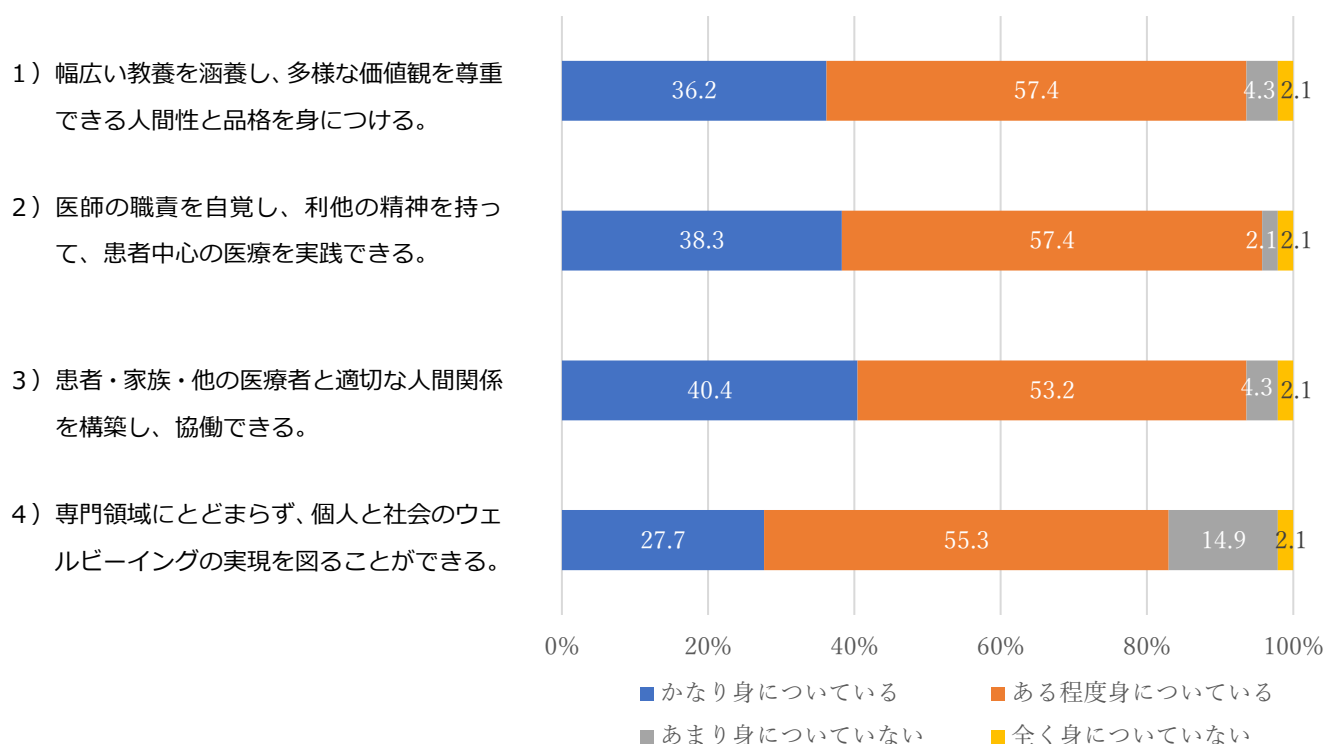


E. 自己管理能力



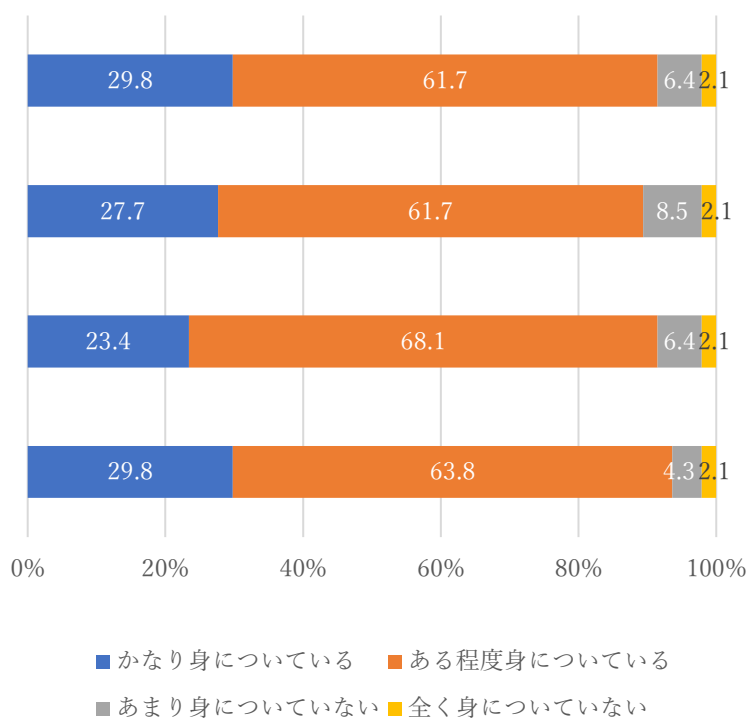
問. 下記のディプロマ・ポリシーについて、あなたは獨協医科大学でどの程度身につけることができましたか。

医師としてのプロフェッショナリズム



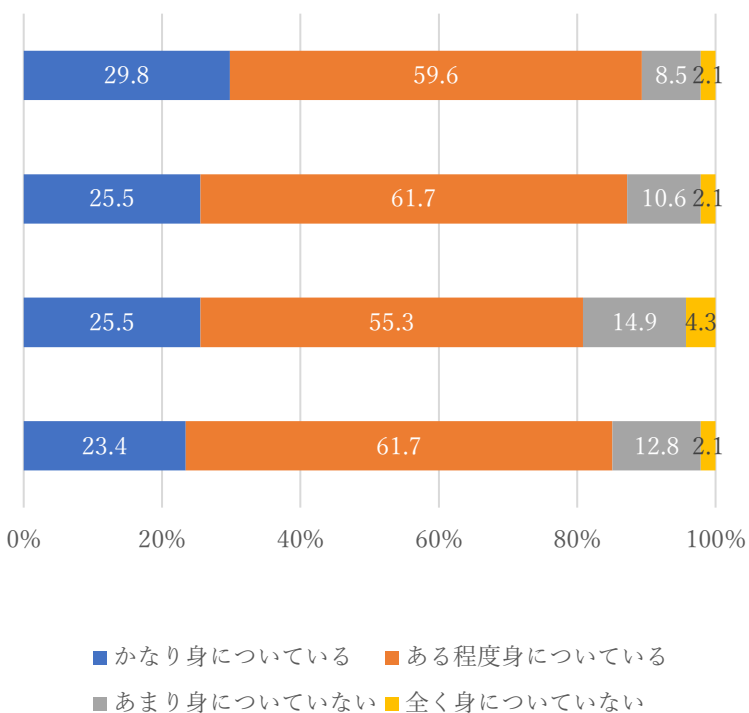
能動的学習能力

- 1) 生涯にわたって主体的に学び、省察し、他者と共に研鑽し続けることができる。
- 2) 医学及び関連領域の知識、並びに科学的根拠に基づく問題解決能力を身につける。
- 3) 情報・科学技術のリスクとベネフィットを理解し、学修に活用できる。
- 4) 確実で信頼される診療技能を身につけ、最適な医療を実践できる。



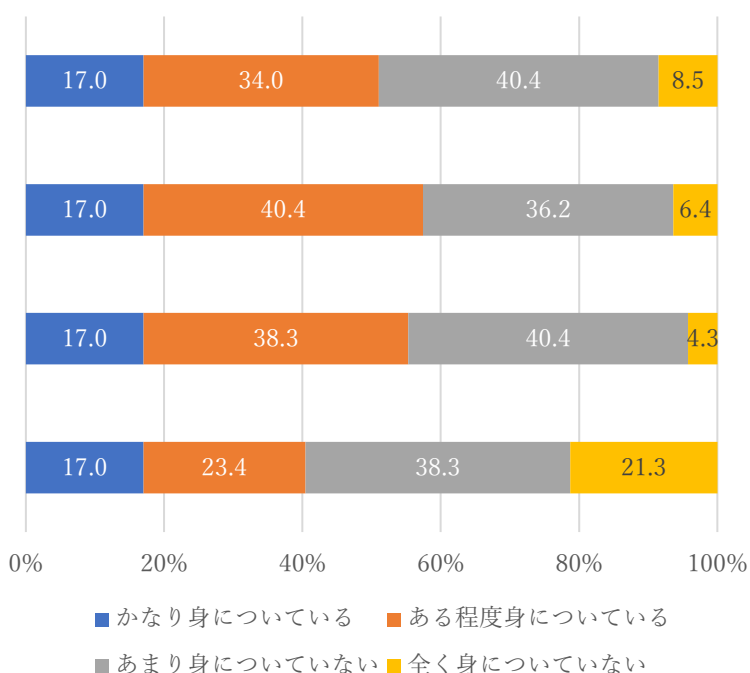
地域医療の理解

- 1) 地域医療の現状と問題点を把握し、公衆衛生の向上に貢献する意義を理解する。
- 2) 医療に係る財政・政策等の社会的視野を身につけ、医療資源の適正な配分や地域医療の構築を理解する。
- 3) 医療関連法規、社会保障制度、社会福祉制度及び関係者の役割を理解する。
- 4) 地域との連携のもと、医療・保健・福祉・介護に関わる人々と協働できる。



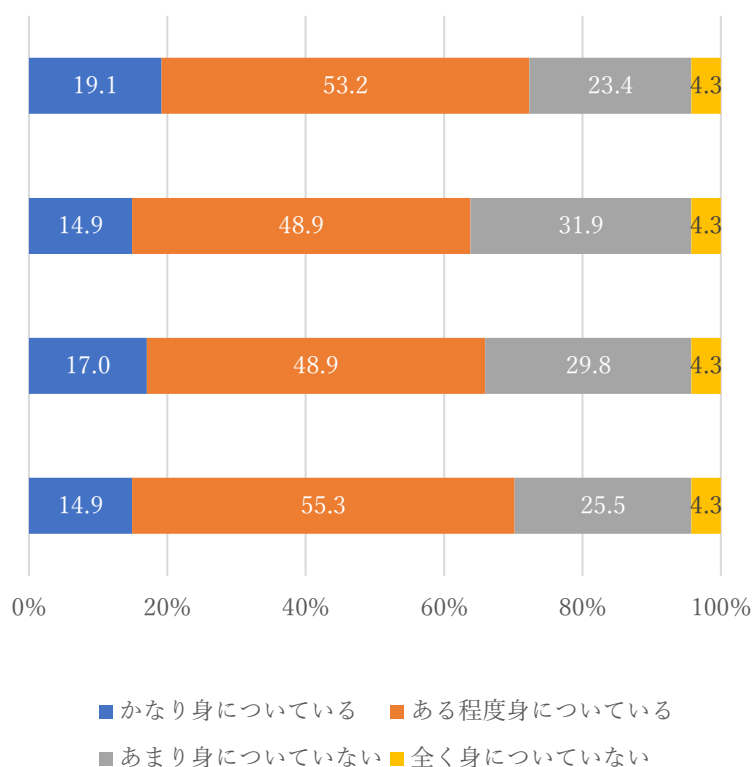
国際性

- 1) 国際交流に積極的に参加できる。
- 2) 医学・医療をグローバルな視点で捉える国際性を身につける。
- 3) 国際社会における医学・医療の動向と課題を理解する。
- 4) 医学・医療に関して外国語で発信・議論することができる。



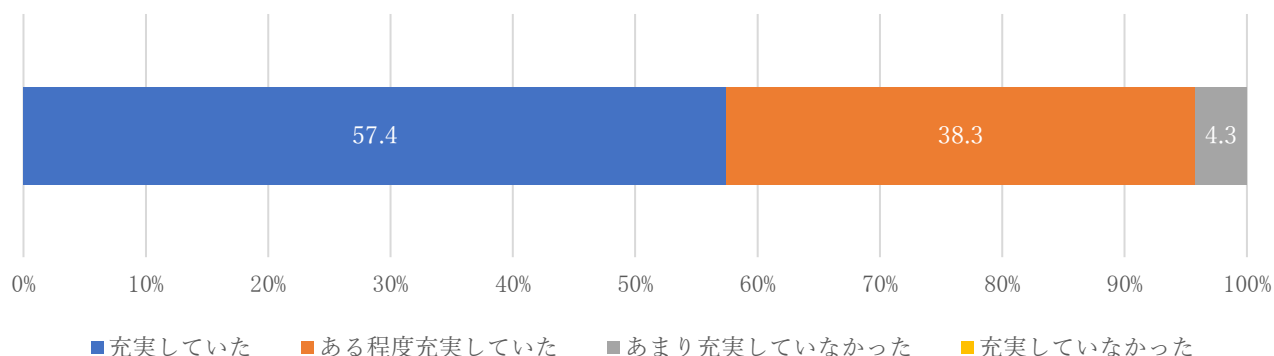
リサーチ・マインド

- 1) 医学研究の重要性を理解し、科学的思考を身につける。
- 2) 研究に関する倫理的・法的事項を遵守しながら、研究を計画し、実践できる。
- 3) 情報・科学技術を活かし、医学研究に活用できる。
- 4) 研究結果を論理的に解釈し、発信・議論することにより、医学・医療の進歩に貢献する。

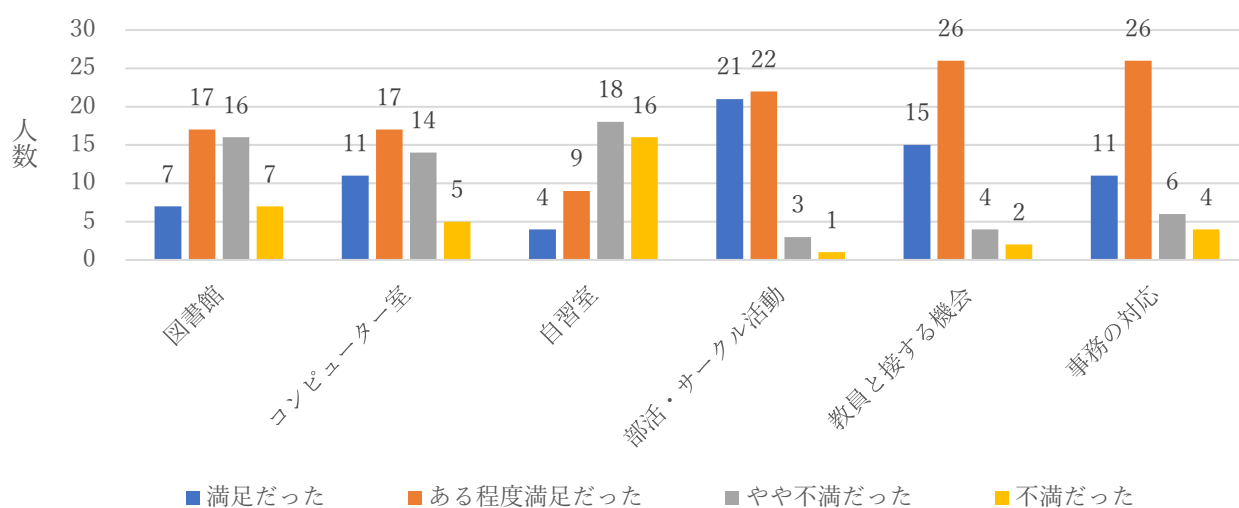


IV. あなたの学生生活について質問します。

問. あなたは、6年間の学生生活は充実していましたか。



問. 獨協医科大学の学生生活支援について最も当てはまるもの。



令和7年9月実施
獨協医科大学医学部教育における成果に関するアンケート
(就職先【臨床研修医】) 報告書
〈要約版〉

2025年11月5日 発行

獨協医科大学 教学IRセンター
医学教育点検推進室 室長 山岸 秀嗣